

## 泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	1 ひとを育む	
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援	
具体的施策	① 非婚化・晩婚化対策	
事業名	婚活イベント企画事業	
事業概要	予算額 100 千円	執行済額 100 千円
	他市町村との連携や、スポーツ等を絡めた独自の婚活イベントの企画等により、若い世代を中心とした結婚希望者の出会いの場の創出に努めます。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	婚活イベント実施回数 (参加者数)					
		KPI	3回20人 (H31年度)					
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	—	3回10人	4回8人	2回4人		
		達成率	—	50%	40%	20%		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	C 県南9市町村で連携し、ふれあいの場創出事業として婚活イベント「出逢い&ふれあいの会」を平成29年11月末時点で2回実施。泉崎村からの参加者は計4名で全員男性だった。今年度あと2回の開催が予定されているが、女性の参加者が少ないため、村内企業訪問を行うことでイベントの告知を行っている。
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
			ホームページへの掲載や、地元商店へのポスター掲示を行ったが参加者数が増えなかった。今後は広報での全戸配布も検討する。また、村内企業訪問も継続して行う。
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評価	

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	住民福祉課福祉グループ
基本目標	1 ひとを育む	
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援	
具体的施策	②子育て環境の整備	
事業名	幼児定期検診事業	
事業概要	予算額	770千円
	執行済額	434千円
子どもの健診を実施することにより、身体発育、精神発達等の異常の有無を早期に発見し、適切な指導を行うとともに、母親に対して育児不安を除き、安心して育児ができるよう支援する。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	幼児定期健診受診率					
		KPI	98% (H31年度)					
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	—	94.7%	99.2%	95.7%		
		達成率	—	97%	101%	98%		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	11月現在、1歳6か月児健診対象者30名中29名(96.6%)、3歳児健診対象者40名中38名(95%) (未受診者の1名は個別対応中) 受診し、未受診者についても受診勧奨していく。前年度3歳児健診の未受診者4名についても今年度3名受診した。ほぼ全ての方が受診できるよう取り組んでいる。
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		順調に推移しているため、継続して事業を実施していく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評価	

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C: 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	教育課学校教育グループ
基本目標	1 ひとを育む	
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援	
具体的施策	③学習・教育の場の充実	
事業名	基礎学力向上推進事業	
事業概要	予算額 11,000 千円	執行済額 6,140 千円
	<p>プチスクール土曜学習会の開校                      中学校放課後学習会 1 年～3 年 (数学・英語) 等                      教育基本法や学校教育法が目指す普遍的な教育の根幹を踏まえ、グローバル化の進展や人工知能 (A I) の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、将来の予測が難しい社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を育む。</p> <p>平成 29 年度より、いずみざきプチスクール土曜日学習会からは、小学生部門を未来に羽ばたく力 (発展コース) と『分からないから分かるへ』手厚い基礎をしっかりと (個別指導コース) を設けた。英語は英検 4 級以上を目指し、英会話のみならず深い学び (英単語・文構造) を身につけ新学習指導要領 (小学校 5 年 6 年から英語が導入) に先駆け、中学英語に十分に対応出来る内容としている。</p> <p>次に、算数については小学校教育課程では学習の範疇にない、いわゆる算数的思考の問題にチャレンジする。例えば方程式 (x・y) を用いれば簡単に解けてしまう問題を面積に置き換えたり、比を用いるなど、いろいろな解法で答えにたどり着く。数学の単に公式を暗記する解法ではなく、幅広いアイデアで問題を解決する数学的センスを磨く学習を取り入れた。この能力はひいては高校数学で公式とその他の解法を加えて問題を解かなくてはならない場合など、先々の学習の基礎固めとなる能力となると考えている。</p> <p>小学校個別指導コースは、寺子屋をイメージした先生と生徒が近い距離で話し合い、分からないことをひとつひとつ丁寧に教えてもらえる雰囲気となる環境設定とした。個別は一斉教授の授業形態とは違うので質問しやすい (分からないことを聞きやすい) という嬉しい声が聞かれている。</p> <p>中学校の放課後学習には、平成 29 年度より 3 年生に導入していた習熟度別学習を 1 年 2 年にも設け、きめ細やかな学習内容とした。</p> <p>○プチスクール土曜学習会                      小学生 5 年・6 年 / 発展コース (英語・算数), 個別コース (国数理社)                      中学校放課後学習会 1 年～3 年 (数学・英語)</p> <p>○中学校放課後学習                      受験コース 3 年 / 習熟度別 (数学・英語)                      1 年・2 年 / 習熟度別 (数学・英語) ※理・社はすべて本務校教職員                      ※講師は、ベスト学院、数学塾、村加配講師による</p>	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	プチスクール土曜学習会の実施回数					
		K P I	5 1 回 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	4 7 回	4 7 回	4 7 回		
		達成率	—	9 2 %	9 2 %	9 2 %		
		目標事項	土曜学習会の他に放課後学習 3 年 20 回、1・2 年 10 回開催					
		K P I						

		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値						
達成率								

平成29年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	学力向上は対象児童生徒が継続しているため、直近の成果は前年度の施策が大きく影響している。全国学力学習状況調査及び県学力調査とも県平均・全国平均を上回っている。また、小学校について対象学年は優れた成果を上げ県内トップレベルの指標を示している。また、中学校の受験学年については実力テスト200点を超過する生徒が2ヶ台(H27・H28)を示し、平成29年度も顕著な伸びを見せている。
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		事業概要にも記述したが、今年度より小学生コースを2コース設け（発展と基礎）、それぞれの目的に応じたきめ細かな学習を実施している。中学校放課後学習では3年生のみならず、1年2年の段階から高校受験を意識させるため習熟度に分け、学習内容及び出題問題など入試傾向に対応した授業とした。早い段階で志望校を意識させ、志望校に必要な学習内容・学習量を生徒個人にきちんと自覚させる働きかけも進めている。なお、現中3世代よりセンタ試験廃止年代＝新大学入試共通テストとなる。記述式が付加されることや英検やTOEIC、GTECなど7種類前後の英語検定試験が追加される。∴学力向上推進委員会（校長会等）で検定試験を奨励していく。※泉崎村英語検定・数学検定検定料助成金交付要綱（平成29年11月1日訓令第9号）制定済み。さらに、現1年生より高校入試に1期選抜試験が廃止される。これにより、すべての受験者に学力テストが付加されることから、村加配講師を放課後学習のCクラス（下位層）に設置して教科の取りこぼしをきちんと履修させ選抜試験へ向け着実に解答を導く手立てを促進する。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。  
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	教育課学校教育グループ
基本目標	1 ひとを育む	
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援	
具体的施策	③学習・教育の場の充実	
事業名	学校などを通じた健康教育・食育の充実事業	
事業概要	予算額 0千円	執行済額 0千円
	健康教育・食育教育の強化により子どもたちの生きる力を育てる。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	健康教育・食育の小・中カリキュラムへの導入					
		K P I	導入済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未導入	未導入	導入		
		達成率	—	0 %	0 %	100 %		
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	総合学習の時間等に栄養士による食育教育を実施した。実施により健康と給食・食事の大切さを理解し、残滓が少なくなった。 これまで幼稚園は 3 回、一小は 7 回、二小は 3 回実施した。今後 3 学期に幼稚園で 2 回、一小で 1 回、二小で 3 回、中学校で 1 回を実施予定。
		担当課 評価	
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	給食センター、栄養教員が幼稚園、小学校・中学校を訪問し、各クラス年 2 回を目標に、総合学習、学級活動などの時間を利用し、食育についての指導活動を行う。
		評価等に対する意見	
	委員会意見	委員会 評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	住民福祉課福祉グループ
基本目標	1 ひとを育む	
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援	
具体的施策	④経済的支援の推進	
事業名	泉崎村特定不妊治療費助成事業	
事業概要	予算額	750千円
	執行済額	123千円
子どもを希望しながらも恵まれない夫婦に対し、特定不妊治療に要する治療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減並びに少子化対策の推進を図る。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	特定不妊治療費助成受給者の出生数					
		KPI	2人 (H31年度)					
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	-	1人	1人	0人		
		達成率	-	50%	50%	0%		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	29年度から男性不妊も助成対象とした。広報いずみざきの29年3月号・5月号に事業の記事を掲載し住民へ周知した。11月現在受給者1名、うち出生数0名。
	B		
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		広報等で事業の周知を図り、今後も継続して事業を実施していく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	1 ひとを育む	
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援	
具体的施策	⑤ワーク・ライフ・バランスの推進	
事業名	ワーク・ライフ・バランス啓発推進事業	
事業概要	予算額 0千円	執行済額 0千円
	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、子育てを行う若い世代等の長時間労働を削減するため、フレックスタイム制度や朝方勤務制度の実施を推進します。 また、フレックス育児休暇等の制度を設けた企業・事業者に対する、優良企業の認定を行うことにより、出産・育児と仕事の両立の実現を支援します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	ワーク・ライフ・バランス優良企業認定数						
		KPI	1 (H31年度)						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	—	0	0	0			
		達成率	—	0%	0%	0%			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	ワーク・ライフ・バランス優良企業を認定するための、情報収集を行い、制度設計に向けた作業を早期に実施したい。
		C	
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		ワーク・ライフ・バランス優良企業を認定するための、先進事例の情報収集を行い、制度設計に向けた作業を早期に実施したい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C: 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(1) 企業誘致等の促進	
具体的施策	①企業誘致による雇用創出	
事業名	企業誘致事業	
事業概要	予算額 1,468 千円	執行済額 0 千円
	自然環境との調和に配慮しながら、官民一体となった企業誘致体制を確立し、高い成長が見込まれる医療・福祉関連産業やソフト系 IT 関連産業等に加え、商業施設の立地可能性の検討等、多様な企業の誘致による雇用創出を推進します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	誘致企業数					
		KPI	3 社 (H31 年度までの 5 年間累計)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	1 社	2 社	2 社		
		達成率	—	33%	66%	66%		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評価	昨年、中核工業団地の土地を買い増した(株)フジ機工が航空関連産業の新工場を建設し操業を開始したところである。また、藤田建設工業(株)も来年度には、事業内容を決定し操業を開始予定している。
		<b>B</b>	
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		工業団地においては、売却可能な土地を有していないことから、既存企業へ村出身者の雇用について働きかけていきたい。	
委員会意見	評価等に対する意見		
	委員会 評価		

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる		
施策の枠組み	(1) 企業誘致等の促進		
具体的施策	②地域企業の競争力強化による雇用創出		
事業名	商店の活性化事業		
事業概要	予算額	3,500 千円	執行済額 3,500 千円
	県や村商工会等との連携を強化し、商業振興制度の拡充により、村内の商店の活性化を図ることにより、商業の総合的な発展を目指します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	村内商店数						
		KPI	37 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	34	34	34			
		達成率	—	92%	92%	92%			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	商工振興事業補助金として、村商工会に補助金を交付し、商工会及び商工会加盟商店等の活性化に寄与した。毎年、桜ウォークや収穫感謝祭など村のイベントに「商工会青年部・女性部」が出店し協力を頂いております。
	(A) 改善	30 年度における取り組みなど	
		同補助事業を継続し、村主催事業等への積極的参加を呼びかけるとともに、自らの地域活性化事業の展開を促す。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評 価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(1) 企業誘致等の促進	
具体的施策	②地域企業の競争力強化による雇用創出	
事業名	高度化資金等の助成制度の促進事業	
事業概要	予算額 0千円	執行済額 0千円
	県や村商工会等との連携を強化し、高度化資金等の助成制度の促進や商業振興制度の拡充により、村内の商店の活性化を図ることにより、商業の総合的な発展を目指します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	高度化資金の助成件数					
		K P I	1 件 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0 件	0 件	0 件		
		達成率	—	0 %	0 %	0 %		
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価
		担当課 評価 D 東日本大震災以降、国や金融機関等の低金利の資金調達に有効な制度が多いため、それらを活用している企業も多く見受けられる。今後も誘致企業に有利な助成制度の情報発信に努めていきたい。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど
		高度化資金制度も含め事業者等に有利な助成制度を、広報紙等で広く周知し情報提供を行って行きたい。
	委員会意見	評価等に対する意見
		委員会 評価

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C: 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる		
施策の枠組み	(1) 企業誘致等の促進		
具体的施策	③若年層等の新規就業・創業への支援		
事業名	新規創業者・新事業展開補助金事業		
事業概要	予算額	0千円	執行済額 0千円
	企業誘致等に伴う求人情報の提供や必要な職業訓練について、関係機関と連携した支援を強化します。また、村内で創業・起業する事業者に対する補助金の交付や、活用可能な空き家・空き店舗等の情報提供等の支援を行い、新たな事業の立ち上げを促進します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	創業・起業に活用された空き家・空き店舗数					
		K P I	5 件 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	3 件	0 件	0 件		
		達成率	—	6 0 %	0 %	0 %		
		目標事項	創業・起業数					
		K P I	1 0 件 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	8 件	0 件	0 件		
		達成率	—	8 0 %	0 %	0 %		

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	創業や起業したいとの問い合わせなどはなかった。
		D	
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		今年度は、他市町村の取り組みを参考にしながら検討したい。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
委員会 評 価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる		
施策の枠組み	(2) 産品の販路拡大		
具体的施策	①村産品の販路開拓へ向けた地産地消		
事業名	地産地消の推進事業		
事業概要	予算額 3,200 千円	執行済額 2,407 千円	
	風評被害払拭及び地産地消推進のため、県外において村の農産物や特産品の販売をするとともに、観光や住宅団地の PR することを目的に実施。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	村産品の取り扱い施設・店舗数					
		K P I	1 2 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	9	9	7		
		達成率	—	7 5 %	7 5 %	5 8 %		
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評価	昨年に引き続き、目標事項に掲げている特産品の取扱施設・店舗数では実績はないが、県外のイベントに積極的に参加し、地元農産物や観光及び住宅地の PR 活動を実施した。
		<b>B</b>	
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		今年度は、6 次産業館の農産物や加工品を中心に販売・PR 活動を実施する予定。なお、PR 活動を実施する際は、人出が多く見込まれる有効なイベントで実施することとする。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(2) 製品の販路拡大	
具体的施策	②農林畜産物の販路開拓	
事業名	観光案内所を兼ねた直売所建設の検討事業	
事業概要	予算額 115,000 千円	執行済額 1,628 千円
	6 次産業館を建設し、観光案内所を兼ね備えた総合直売所建設することにより、村の農業生産者の販路拡大に繋げる。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	直売所の開設数					
		KPI	3 箇所 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	2 箇所	0 箇所	0 箇所		
		達成率	—	67%	0%	0%		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	平成 29 年 12 月末に建物及び外構の建設工事については完成し、平成 30 年 5 月のオープンに向け準備を進めてる所である。 今年度は、建物も完成することが出来、オープンの目途も立ったことから、一定の実績があったと感じている。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		魅力ある直売所にするため、今まで以上に直売所実行委員会の皆様と協力しながら、オープンの準備を進めていかなければならない。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評 価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる		
施策の枠組み	(2) 製品の販路拡大		
具体的施策	②農林畜産物の販路開拓		
事業名	県のアンテナショップへの出品事業		
事業概要	予算額	0千円	執行済額 0千円
	県のアンテナショップ (MIDETTE) 日本橋ふくしま館等へ泉崎村の農産物等を出品することにより、販路開拓及び泉崎村の PR をすることを目標とする。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	県アンテナショップの村産品取扱品目数					
		K P I	1 品 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0 品	0 品	0 品		
		達成率	—	0 %	0 %	0 %		
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評価	今年度は、福島県のアンテナショップ (MIDETTE) 日本橋ふくしま館への出品はなかった。
	C	現在までは、加工品も含め出品出来る品物が少ない理由もあったが、来年平成 30 年 5 月に 6 次産業館がオープンすることから魅力ある商品を開発し出品出来るようにしたいと考えている。	
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		6 次産業館も 5 月にオープンする予定となっているので、泉崎村の地場産品を活用した 6 次化商品の開発を進めて行きたい。	
委員会意見	評価等に対する意見		
	委員会 評価		

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。  
 D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(3) 未来につながる農業づくり	
具体的施策	①農業生産基盤の強化	
事業名	経営体育成対策事業	
事業概要	予算額 0 千円	執行済額 0 千円
	地域の将来を担う中心経営体の育成・確保を図ることが課題となっている。中心経営体が、経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入について支援する。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	育成対象とする農業経営体数						
		KPI	6 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	5	5	5			
		達成率	—	83%	83%	83%			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	今年度については、実績がなかったが、今後、福島県、JA 等関係機関と連携して事業の継続を図る。
		C	
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		採択要件として集落単位等での人・農地プランの作成が必須のためプラン作成を推進する。 事業概要について、農政説明会等で情報提供を行って行きたい。	
委員会意見	評価等に対する意見		
	委員会 評 価		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。  
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる		
施策の枠組み	(3) 未来につながる農業づくり		
具体的施策	①農業生産基盤の強化		
事業名	集落営農対策事業		
事業概要	予算額	0千円	執行済額 0千円
	近年、農家の高齢化及び地域における担い手・後継者不足が課題となっている。地域農地の継続的な耕作・維持管理のため、集落ぐるみで集落全体の農業生産の効率化と所得向上を図り合理的な農業の展開を支援する。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	集落営農組織数						
		K P I	3 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	2	2	2			
		達成率	—	66%	66%	66%			
		目標事項							
		K P I							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	現在活動している二つ集落営農組織は、村内全域を活動範囲としており経営所得安定対策事業への加入を主たる目的として設立されている。今後設立する組織については、地域の情勢に合わせた集落単位の営農組織の設立を目指す。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		担い手・後継者不足が予測される地域の把握に努める。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評 価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる		
施策の枠組み	(3) 未来につながる農業づくり		
具体的施策	②農業の6次産業化の推進		
事業名	6次産業化の推進事業		
事業概要	予算額	1,767 千円	執行済額 523 千円
	魅力ある農業を推進するため、農薬等を使用しない農法（有機栽培）を実施する。事業内容としては、試験研究を目的とした農地（圃場）を借用し、一般参加者により有機栽培を実施する。また、将来的には収穫した農産物を利活用した6次化商品の開発を行い、村の魅力を発信できる特産品にする。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	6次産業化による製品開発数						
		KPI	1 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0	0	0			
		達成率	—	0 %	0 %	0 %			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	今年度については、有機栽培を目指している圃場に（玉葱・にんにく・大根・じゃがいも・かぼちゃ・トウモロコシ・菜種・インゲン）を作付した。鳥獣被害によりトウモロコシや菜種は収穫出来なかった品種もあったが昨年度より種類を増やす事が出来た。しかしながら一般参加者が少ないため、平成30年の1月広報で参加者の周知をしたところであるが、今後も多くの方に参加してもらえよう努力していきたい。
	(A) 改善	30 年度における取り組みなど	
		一般参加者を増やし村内の特産に結び付けて行きたい。 また、有機野菜の認証に向け申請書類の整備を進めて参りたい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(3) 未来につながる農業づくり	
具体的施策	③農業の担い手の育成・確保	
事業名	新規就農者等への支援事業（青年就農給付金事業）	
事業概要	予算額 5,250 千円	執行済額 5,250 千円
	農業従事者の高齢化及び地域の担い手農家不足が進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年の新規就農者を増加させる必要があり、新規就農するにあたっては、技術の習得や所得の確保等が課題となっていることから、経営が不安定な就農直後（5 年以内）の所得を確保する給付金を給付し、青年の新規就農者を増加させることを目的とする。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	新規就農者数					
		K P I	6 人 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	4 人	0 人	0 人		
		達成率	—	6 7 %	0 %	0 %		
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	本年度においては、新規就農者がいなかったが、相談案件が数件あり、次年度に向けて新規就農者と連絡を密にしていきたい。今後は事業の情報発信を行っていきたい。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		福島県、J A 等と情報を共有し就農希望者の掘り起こしや新規就農に関する相談体制を強化すると共に情報の発信を実施する。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	①首都圏を中心とした移住・定住の情報発信		
事業名	泉崎村ライフスタイル提案事業		
事業概要	予算額 1,303 千円	執行済額 1,222 千円	
	泉崎村への移住を検討している人のため、過去に移住した人を対象に、村での生活を調査し、ライフスタイルの例として冊子作成・HPへの公開を行います。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	泉崎村ライフスタイル調査の実施						
		KPI	実施済 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未実施	実施済	実施済			
		達成率	—	0 %	100 %	100 %			
		目標事項	泉崎村ライフスタイル冊子の作成						
		KPI	作成済 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未作成	未作成	未作成			
		達成率	—	0 %	0 %	0 %			

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	① 今年度は新たな動画作成は行わず、春に東京都から泉崎村までのバスツアーを開催し 15 名が参加した。実際に天王台ニュータウンに移住された方々との交流によりライフスタイルを提案した。また、その様子をホームページ及び SNS 上に公開し、泉崎村の魅力を発信した。(わっはっは!! 泉崎村交流拡大事業委託費 800,000 円他)
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		ホームページに公開したが実際の移住に結びついていないため、PR 方法を再考する必要がある。交流事業などの SNS での発信は続けることで効果が表れると期待している。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評 価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	教育課学校教育グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	②地域のニーズに対応した移住者受入体制の構築		
事業名	Uターン者等の奨学金の減免事業		
事業概要	予算額 0千円	執行済額 0千円	
	泉崎村出身者が大学卒業後に村内に居住・就職すること等による奨学金の一部減免		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	奨学金の減免者数						
		KPI	3人 (H31年度)						
		数値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
			－	0人	0人	0人			
		達成率	－	0%	0%	0%			
		目標事項							
		KPI							
		数値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	要綱も出来ていない。検討を要するがまだ取り組んでいない。
		D	
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		特に取り組んでいない。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	②地域のニーズに対応した移住者受入体制の構築		
事業名	地域おこし協力隊の活用事業		
事業概要	予算額	0千円	執行済額 0千円
	地域の理解と協力を得て地域おこし協力隊の受け入れを行い、移住・定住を促進します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	地域おこし協力隊の受け入れ数					
		K P I	1人 (H31年度)					
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数 値	－	0人	0人	0人		
		達成率	－	0%	0%	0%		
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評 価	地域おこし協力隊の受け入れに向けて、受入れ団体の担当者研修に参加し情報収集をしている。
		C	
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		地域おこし協力隊の受け入れを行っている近隣市町村の担当者等から情報収集を行いたい。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
委員会 評 価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	③住まいの確保による移住・定住促進		
事業名	若者定住賃貸住宅建設事業		
事業概要	予算額	14,074 千円	執行済額 13,280 千円
	若年層の方々の定住促進を図ることにより、人口の増加及び地域社会の活性化を目指す。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	若者定住賃貸住宅建設数						
		K P I	3 戸 (H31 年度)						
		数 値	現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
			—	1 戸	2 戸	3 戸			
		達成率	—	33%	66%	100%			
		目標事項							
		K P I							
		数 値	現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	今年度、3 棟目の 3 号棟が 1 2 月下旬に完成しました。 現在までに入居されている方々は、村のイベント等にも積極的に参加いただいております。地域住民も方々からも喜びの声を頂いております。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		3 号棟の入居者を募集、抽選・引渡しを行う予定としている。 平成 30 年度の建設については、今後検討をすることとしております。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
委員会 評 価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	事業課建設水道グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進	
具体的施策	③住まいの確保による移住・定住促進	
事業名	公営住宅・定住促進住宅長寿命化対策事業（公営住宅等ストック総合改善事業）	
事業概要	予算額	0千円
	執行済額	0千円
<p>H26年度～H35年度までの10年間を長寿命化計画期間とし、前期・後期5年ずつとし計画内容は5年ごとに見直すこととなっている。村営住宅・定住促進住宅においては、耐用年数を超過・または耐用年数の過半を超過した住戸はない。しかし、躯体の耐久性、経年劣化による設備類の改修が重要な課題であるため、定期点検等を踏まえた効果的な計画のもと、ストックを有効的に維持管理するため、計画的な修繕・改善等の検討も行う。</p>		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	長寿命化実施済み公営住宅数						
		KPI	1棟 (H31年度)						
		数値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
			—	0棟	0棟	0棟			
		達成率	—	0%	0%	0%			
		目標事項							
		KPI							
		数値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	平成29年度においては、排水管の腐食等による修繕は行ってきたが、大規模な修繕・改善箇所はなかった。今後も定期的な建築物・設備等の定期検査を行い、早期に補修・交換を行い、施設の長寿命化に向けた予防保全的な維持管理に努めたい。
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	計画に基づき、定期点検を実施し、建物の老朽化・劣化による事故等を未然に防ぐとともに、修繕工事の効率的な実施につなげる。
		評価等に対する意見	
	委員会意見	委員会 評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進	
具体的施策	④交通利便性の向上	
事業名	高速バス乗降場の設置事業	
事業概要	予算額 13,381 千円	執行済額 13,381 千円
	矢吹インターチェンジ付近に高速バスの停留所「矢吹泉崎バスストップ」を整備することにより、近隣市町村の利便性を首都圏に強く印象付け、来訪者の増加や二地域居住の推進を図る。 平成 30 年度供用開始予定であったが、本年 5 月の社会資本整備総合交付金の内示（要望額 240,000 千円に対し配分額 27,000 千円）を受け、平成 31 年度供用開始と変更になった。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	高速バス乗降場の設置					
		K P I	設置済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	－	未設置	未設置	未設置		
		達成率	－	0 %	0 %	0 %		
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評価	矢吹町が中心となって、測量、設計、用地交渉等の業務を行っている。
		B	
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		29 年度から 30 年度にかけて工事・補償・ネクスコの協議を行っていく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	④交通利便性の向上		
事業名	S u i c a の設置事業		
事業概要	予算額	0 円	執行済額 0 円
	J R 泉崎駅に簡易 Suica 改札機を設置することにより、泉崎駅を利用する方の利便性を向上させる。 泉崎駅の利便性が向上することにより、通勤・通学で利用する方が増え、人口減少に歯止めをかけたい。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	S u i c a の設置						
		K P I	設置済 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未設置	未設置	未設置			
		達成率	—	0 %	0 %	0 %			
		目標事項							
		K P I							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	福島県鉄道活性化対策協議会を通し J R 東日本本社等への要望した結果、「導入には非常にお金がかかることから、利用状況や導入によって見込まれる効果を総合的に勘案していきたい。」と回答があった。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		導入に向けて継続して要望していきたい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	中央公民館
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	⑤郷土愛の醸成		
事業名	泉崎の魅力発見事業		
事業概要	予算額	300千円	執行済額 0千円
	村内外に呼びかけ、泉崎の魅力を発見するためのフィールドワークを実施し、発見した魅力の活用について、ワークショップ等で検討します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	魅力発見ワークショップの実施						
		KPI	実施済 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未実施	1	1			
		達成率	—	0%	70%	70%			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	昨年度より活動している鳥峠の自然を守る会の会員が案内人を務め、園児から大人まで鳥峠の美しい自然に触れ合える「自然観察会」を6回開催した。その際、村のシンボルである鳥峠の存在を初めて知ったという子どもも多く、郷土愛の醸成として有効的な活動であった。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		山開きと春に咲くカタクリをテーマとした、「かたくり祭り」を4月8日(土)に開催し、村内外から約250名が訪れ賑わいをみせた。 村外からも多くの来客者があり、泉崎村の魅力発見・発信に繋げることが出来た。村のPRを兼ね来年度も開催する予定である。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	教育課学校教育グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	⑤郷土愛の醸成		
事業名	泉崎村の特産品を活かした食育推進事業		
事業概要	予算額 734 千円	執行済額 734 千円	
	地場産の野菜（トマト・空芯菜・ブロッコリー等）やソバ、「夢味ポーク」「愛郷やき」等を活用した給食メニューの開発を推進し、地域の文化の豊かさを子どもたちに伝えることにより、郷土愛を醸成します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	村産品を活用した給食の延べ回数						
		KPI	月 45 回 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	月 33 回	月 23 回	月 24 回			
		達成率	—	73%	51%	53%			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	調理時間の制約があるため、村内産を利用する際には一次処理を必要とするため、村内産で利用しているものは、加工物が多い。生ものが利用できない。地場産物の活用状況は、6 月が 44.4% で 11 月は 58.9% であった。少しずつ地場産物の活用が図られている。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		調理時間の制約があるため、村内産を利用する際には一次処理を必要とする。そのため冷凍物を利用してしまふことが多い。米・味噌・椎茸は村内産を使用、ブロッコリーは白河産の冷凍品を使用、また、大根・にんじんなどの野菜について直売所等から購入するなど、地産地消に取り組んでいく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評 価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(2) 観光振興による人の流れの促進		
具体的施策	①国内外からの観光誘客		
事業名	SNSを活用した情報発信事業		
事業概要	予算額	600 千円	執行済額 0 千円
	観光に関するホームページ作成やフェイスブック等の SNS 活用により、村の魅力等の情報発信力を強化します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	SNS 対応ホームページへの平均アクセス数						
		KPI	100 回/日 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	164 回	1,846 回	2,005 回			
		達成率	—	164%	1846%	2005%			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	目標以上に進捗している。
		A	
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		27 年 3 月よりホームページ制作を Web 制作会社に委託し、目標とするアクセス数を達成した。 ところどころ情報が古いページが散見されるので、見つけ次第更新・削除していく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評 価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(2) 観光振興による人の流れの促進	
具体的施策	①国内外からの観光誘客	
事業名	公衆無線LAN整備事業	
事業概要	予算額 3,240 千円	執行済額 0 千円
	2020 年までに主要な観光・防災拠点における重点整備箇所について、国が作成する整備計画に基づき、無料 Wi-Fi 環境の整備を推進する。 今年度は第一小学校・第二小学校・中学校に公衆LANのアクセスポイントを整備することにより、観光客や村民に利便性の良さをアピールする。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	1 日の平均アクセス数					
		K P I	30 回					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	169 回	154 回	14 回		
		達成率	—	563%	513%	47%		
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評価	今年度実施予定の泉崎村公衆無線LAN整備工事は、今年度中に整備が完了する予定である。
		B	
	(A) 改善	30 年度における取り組みなど	幼稚園・保育所・児童館に公衆無線LANを整備する予定である。
		評価等に対する意見	
	委員会意見	委員会 評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(2) 観光振興による人の流れの促進	
具体的施策	②観光地の再生	
事業名	観光モデルコースの策定事業	
事業概要	予算額 0千円	執行済額 0千円
	村のシンボルである鳥峠の自然を活かした遊歩道や、村内幹線道路の桜並木の維持・整備を図るとともに、こうした観光資源をつないだ回遊型の観光モデルコースを策定します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	観光モデルコースの策定						
		KPI	策定済 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未策定	未策定	未策定			
		達成率	—	0 %	0 %	0 %			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評価	県南観光推進協議会（東西しらかわの自治体が加盟）として、東西しらかわ周遊バスツアーを実施し、村内では「ノーベル」や「こころや」に立ち寄ってもらった。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		ホームページに最新の情報を掲載する。 また、県南地方の情報パンフレット等に泉崎村の旬の情報を掲載する。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(3) 観光・交流の基盤となるスポーツ・文化の振興		
具体的施策	①スポーツによる地域振興		
事業名	スポーツ合宿の誘致促進事業		
事業概要	予算額	0千円	執行済額 0千円
	豊富なスポーツ施設や村への首都圏等からの交通利便性を活かし、スポーツ合宿の誘致を推進する。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	スポーツ合宿の誘致数						
		KPI	150 (H31年度)						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	—	119	125	120			
		達成率	—	79%	83%	80%			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	指定管理制度にて村より委託している泉崎カントリーヴィレッジにおいて体育施設とカントリーヴィレッジの利便性をアピールする営業活動を実施している。首都圏の大手旅行業者への営業、県内宿泊施設で組織する団体において教育旅行合宿キャラバン等に参加し隣県の中学校、高校、大学にスポーツ合宿誘致活動を積極的に行っている。
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		継続して事業を実施する。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	教育課生涯学習グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(3) 観光・交流の基盤となるスポーツ・文化の振興	
具体的施策	①スポーツによる地域振興	
事業名	指導者及びスポーツ推進員の育成事業	
事業概要	予算額 148 千円	執行済額 0 千円
	スポーツ推進委員や指導者が各スポーツ競技の指導を行いながら村の大会や駅伝大会中継所のサポートを行う。 又、県スポーツ推進委員研究大会や西白河地方実技研修会講演会に参加し知識向上を図る。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	スポーツ推進員育成数						
		KPI	15 人 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	11 人	11 人	11 人			
		達成率	—	73 %	73 %	73 %			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	各スポーツ競技の指導と村の大会や駅伝中継所のサポート、また、県研究大会へのスポーツ推進委員の参加者についても、半分以上の参加があった。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		目標値 15 人に対し、現在員の 11 人を何とか保持している状況である。 スポーツ少年団等の指導員等に推進員委嘱への呼びかけを行っていることのほか、スポーツサークルの代表者等への呼びかけを行っていきたい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	中央公民館
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(3) 観光・交流の基盤となるスポーツ・文化の振興	
具体的施策	②地域の文化財・民俗芸能の保存・継承	
事業名	新たな活動団体の創出事業	
事業概要	予算額 50 千円	執行済額 44 千円
	伝統文化保存会をはじめとした、地域の文化・芸術活動を支援します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	文化活動団体数					
		KPI	8 団体 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	6 団体	6 団体	6 団体		
		達成率	—	75%	75%	75%		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評価	新たな活動団体の創出は実施していない。
		D	
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		29 年度において新たな活動団体の創出はありませんでしたが、各団体において若い世代の新会員も増え、「伝統文化の保存・継承」ということでは成果を上げています。	
		新たな文化活動団体の増設を目標とするのではなく、現在ある伝統文化団体の保存を中心に事業を展開していくことが賢明だと考えます。	
委員会意見	評価等に対する意見		
	委員会 評価		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	教育課生涯学習グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(3) 観光・交流の基盤となるスポーツ・文化の振興	
具体的施策	②地域の文化財・民俗芸能の保存・継承	
事業名	文化財マップ作成や説明板の設置事業	
事業概要	予算額 292 千円	執行済額 292 千円
	文化財マップの作成や説明板を設置することにより、村内の文化財の調査や研究の充実を図ると共に、文化財の保存や活用を推進する。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	文化財マップ (ガイドブック上で地図掲載)							
		KPI	実施済 (H31 年度)							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考	
		数 値	—	未実施	50%	実施済				
		達成率	—	0%	50%	75%				
			目標事項							
			KPI							
				現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値								
		達成率								

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評価	昨年度作成した文化財ガイドマップに対応した、ガイドマップを作成する予定である。
		B	
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		文化財ガイドブック及びマップを活用し、見学学習など学校教育に取り入れた活用を図る。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C: 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	教育課生涯学習グループ
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保	
具体的施策	①地域コミュニティの再生と活性化	
事業名	コミュニティ交通の充実事業	
事業概要	予算額 4,110 千円	執行済額 3,302 千円
	小さな拠点推進のためのコミュニティ交通充実の観点から、ふれあい号のデマンド交通化を行う。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	ふれあい号の利用者数					
		K P I	2, 5 0 0 人 (H31 年度)					
		現況値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	2,017 人	2,373 人	1,603 人		
		達成率	—	80%	95%	64%		
		目標事項						
		K P I						
		現況値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評価	買物便の運航により、目標値の水準並みに達している。 しかし、今年度より例年敬老会で配られていた温泉利用券が廃止となったため、温泉利用のためのふれあい号利用が大幅に減少する見込みである。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		買物便は村内、村外を週一回ずつ運航しているが村内商店の閉店などから、村外便に比べて村内便の利用率が低い。今後、利用者の声や利用状況を検討して、運航計画を見直していく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。  
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	中央公民館
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保	
具体的施策	①地域コミュニティの再生と活性化	
事業名	世代間交流事業の推進・実施事業	
事業概要	予算額 50 千円	執行済額 50 千円
	世代を超えた異年齢での体験活動を通して、互いに人との関わり方を学ぶとともに、協調性・尊重性・思いやりの気持ちを育む事業を推進します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	世代間交流事業数					
		KPI	5 事業 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	3 事業	4 事業	5 事業		
		達成率	—	60%	80%	100%		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価
		担当課 評価 A
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど
		29 年度は古くから伝わる伝統行事はもちろん、世代を超えた異年齢での新たな行事等を通して、人との関わり・交流を深めることが出来た。 今後も継続して事業に取り組んでいきたい。
	委員会意見	評価等に対する意見
		委員会 評価

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C: 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保	
具体的施策	②空き家等対策の推進	
事業名	空き屋対策事業	
事業概要	予算額 0千円	執行済額 0千円
	空き家物件の状況を調査・把握し、居住可能な物件の空き家バンクへの登録と、インターネットを介した情報提供により、移住希望者等とのマッチングを図ります。また、倒壊等の危険性のある家屋の所有者に対して、今後の利用予定がない場合の撤去を促します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	空き家調査の実施					
		KPI	実施済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	実施済	実施済	-		
		達成率	—	100%	100%	-		
		目標事項	空き家バンク登録物件数					
		KPI	10 件 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	0 件	0 件	0 件			
		達成率	0 %	0 %	0 %			

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価
		担当課 評価
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど
		空き家対策には、条例の制定や空き家の持ち主及び地域住民との話し合いの場も必要とされ、かなり事務量も大きいことから、事務の見直しも含め再度検討する必要性を感じている。
	委員会意見	評価等に対する意見
委員会 評価		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	住民福祉課住民グループ
基本目標	4 安心をつくる		
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保		
具体的施策	③地域防犯・防災力の強化		
事業名	消防団の充実事業		
事業概要	予算額	20,847 千円	執行済額 11,546 千円
	泉崎村消防団は、現在6分団に分かれている。このため、幹部人数も多く全ての幹部団員に連絡を取るだけでもかなりの時間を要している。このことから、2分団制とすることにより、指揮系統を単純化・短縮化し、幹部経験や知識の不均衡をなくす。また、現在も組織化されている機能別消防団の更なる充実を図り、就労形態の変化等による出動不可団員の補完に努めると共に、国が推進する女性消防団員及び学生消防団員の新規確保に努める。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	消防団員数						
		KPI	241人 (H31年度)						
		数値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
			—	241人	241人	241人			
		達成率	—	100%	100%	100%			
		目標事項							
		KPI							
		数値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	昨年度から引き続き消防団幹部に対し2分団制移行への説明を行い、周知や新幹部の発掘に努めている。また、消防車両や屯所等の装備、設備関係の充実もあわせて実行し、消防力強化や新制度移行への準備に取り組んでいる。
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		昨年度から引き続き2分団制移行についての取り組みを進め、消防団員の連携や意識向上を図る。また、消防車両の購入や消防屯所改修など設備や施設の強化、充実を目標に取り組む。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	住民福祉課住民グループ
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保	
具体的施策	③地域防犯・防災力の強化	
事業名	災害時応援協定の締結事業	
事業概要	予算額 0千円	執行済額 0千円
	災害時応援協定として、南会津郡の4町村及び西白河郡の4町村と協定を締結、「LPガス等の供給協力に関する協定」を福島県LPガス協会白河支部と、「生活物資の確保及び供給に関する協定」を白河青果(株)及び丸水白河魚市場(株)と結んでいる。また、下條村との間に災害時応援協定を締結している。ほか、日本郵便(株)と平常時高齢者の見守り等や災害時の協力に係る協定を締結、茨城県常陸太田市と原子力災害時における常陸太田市民の県外広域避難に関する協定を締結。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	災害時応援協定の締結数					
		KPI	4 (H31年度)					
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	—	3	4	6		
		達成率	—	75%	100%	150%		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価
		担当課 評価
		<b>B</b>
	(A) 改善	30年度における取り組みなど
		現在検討している災害時炊き出し時の食材提供について、具体的な内容を詰めていきたい。
	委員会意見	評価等に対する意見
委員会 評価		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保	
具体的施策	④公共施設等の戦略的な維持管理	
事業名	村の情報基幹システムのクラウド化	
事業概要	予算額 0 円	執行済額 0 円
	しらかわ地域市町村クラウド化検討グループで基幹系システムクラウド化（共同利用）に向けた検討を行い、平成 35 年度運用開始を目標に移行する。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	クラウド化の実施					
		KPI	実施済（H31 年度）					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	－	未実施	未実施	未実施		
		達成率	－	0 %	0 %	0 %		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価
		担当課 評価 B
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど
		引き続き関係市町村との協議に参加していく。
	委員会意見	評価等に対する意見
委員会 評価		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	4 安心をつくる		
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保		
具体的施策	④公共施設等の戦略的な維持管理		
事業名	公共施設実態調査の実施		
事業概要	予算額	0 円	執行済額 0 円
	<p>既存公共施設について、必要性・住民アクセス・有効土地利用等の観点から統廃合や再配置を検討するとともに、計画的な補修・修繕を行うことにより、各施設の維持管理に努めます。</p> <p>全ての公共施設の実態調査を行うことにより、今後、必要となる更新費用の算定を行なう。</p>		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	公共施設実態調査の実施						
		KPI	実施済 (H31 年度)						
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未実施	未実施	未実施			
		達成率	—	0 %	0 %	0 %			
		目標事項							
		KPI							
			現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評 価	実施していません。
		B	
	(A) 改善	30 年度における取り組みなど	
		平成 31 年度までに実施できるよう準備していく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評 価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	住民福祉課福祉グループ
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(2) 医療と福祉の充実・連携	
具体的施策	①介護離職ゼロの推進	
事業名	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護への優遇措置制度の検討	
事業概要	予算額 0千円	執行済額 0千円
	家族介護者の急な仕事の都合等に対しても柔軟に対応可能な、地域密着型特別養護老人ホームを整備する事業所に対して、多様な優遇措置を検討し、介護を理由とした離職ゼロを目指します。また、企業・事業者に向けて、介護を要する家族等を持つ就業者のワーク・ライフ・バランス啓発の講習会を実施します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	地域密着型特別養護老人ホーム数					
		KPI	1 (H31年度)					
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	-	0	0	0		
		達成率	-	0%	0%	0%		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課評価	地域密着型特老の開所が平成29年12月となるため未着手。
		D	
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		優遇措置、講演会など十分に検討したい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会評価			

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C: 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	住民福祉課福祉グループ
基本目標	4 安心をつくる		
施策の枠組み	(2) 医療と福祉の充実・連携		
具体的施策	②地域医療の充実		
事業名	救急医療体制の維持及び充実		
事業概要	予算額	0千円	執行済額 0千円
	医療の質の向上とともに、広域的医療機関との役割分担や連携強化に向けた支援を行い、子どもから高齢者までを対象とした、幅広い医療の充実に努めます。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	広域的医療機関との連携事業数						
		KPI	1事業 (H31年度)						
		数値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
			—	0事業	0事業	0事業			
		達成率	—	0%	0%	0%			
		目標事項							
		KPI							
		数値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	現在、すでに白河地方の1市1町3村が協力して広域で救急医療体制の維持・充実を図るため医師の確保支援に係る支援負担金や私的救急医療負担金を県南2病院に拠出しています。
	E		
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		今後も継続して広域市町村で体制の充実を図っていきます。	
委員会意見	評価等に対する意見		
	委員会 評価		

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C: 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	中央公民館
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(2) 医療と福祉の充実・連携	
具体的施策	③地域における福祉の支え合い活動の促進	
事業名	泉崎村ボランティア連絡協議会の機能強化事業	
事業概要	予算額	50 千円
	執行済額	50 千円
高齢化が進む中、寝たきりや一人暮らしの方の数が年々増加傾向にある。 そこで、ボランティア団体及び個人ボランティアの相互連携を図りながら見守り・訪問活動・地域の人等との交流の場づくりなどを提供したい。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	ボランティア団体数						
		K P I	10 団体 (H31 年度)						
		数 値	現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
			—	8 団体	8 団体	9 団体			
		達成率	—	80 %	80 %	90 %			
		目標事項							
		K P I							
		数 値	現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29 年度評価	
		担当課 評価	現在では各小学校への総合学習の参加や各イベントへの協力、清掃等が主な活動とおり、「福祉」については活動を展開していない。 今年度は新会員として西白河ライフケア会が加入したので、相互連携を図りながら地域福祉活動に繋げていきたい。
	改善 (A)	30 年度における取り組みなど	
		ボランティア連絡協議会会員においても年配者が多いことから、高齢者への訪問活動などは難しい状況にある。 今後は様々なボランティア活動に対応出来るよう、若い世代の会員加入を促進していくことも必要である。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	中央公民館
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(2) 医療と福祉の充実・連携	
具体的施策	③地域における福祉の支え合い活動の促進	
事業名	ボランティアリーダーの養成・研修事業の実施	
事業概要	予算額 0千円	執行済額 0千円
	ボランティア活動への住民の参加意欲醸成のため、広報・啓発や情報提供に努めます。 また、ボランティア活動の推進体制を整備するとともに、人材の育成等、全体的な取り組みを強化します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	ボランティアリーダー育成数						
		KPI	2人 (H31年度)						
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値	0人	0人	0人				
		達成率	0%	0%	0%				
	目標事項	KPI							
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値							
		達成率							

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	実施していない。
		D	
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		泉崎村ボランティア連絡協議会活動を中心として事業を展開していきたいと考えていたところだが、長きに渡り社会教育に携わり、社会教育主事の資格を持つ、中央公民館長から指導を頂きながら事業を推進していく方向も検討中である。 このように身近にいる人材を有効に活用し、推進体制の整備に繋げていきたい。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
委員会 評価			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分	担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	5 まちをつなぐ	
施策の枠組み	(1) 地域間連携の推進	
具体的施策	① しらかわ地域定住自立圏構想の推進	
事業名	しらかわ地域定住自立圏形成協定	
事業概要	予算額 31,848 千円	執行済額 18,058 千円
	白河市と生活圏や経済圏をともしする、泉崎村を含めた9市町村長参加による「しらかわ地域定住自立圏推進協議会」のしらかわ地域定住自立圏共生ビジョンの推進に努めます。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	しらかわ地域定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取り組みの推進					
		KPI	41事業 (H31年度)					
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	—	16事業	12事業	13事業		
		達成率	—	39%	29%	32%		
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値						
		達成率						

平成 29 年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課	しらかわ地域定住自立圏共生ビジョンに掲載している事業で、実施していない事業が増えてしまった。
		評価	
	C		
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		しらかわ地域定住自立圏共生ビジョンに掲載している事業は、特別交付税の措置があるため、各担当課に事業を実施するよう要請する。	
委員会意見	評価等に対する意見		
	委員会評価		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。